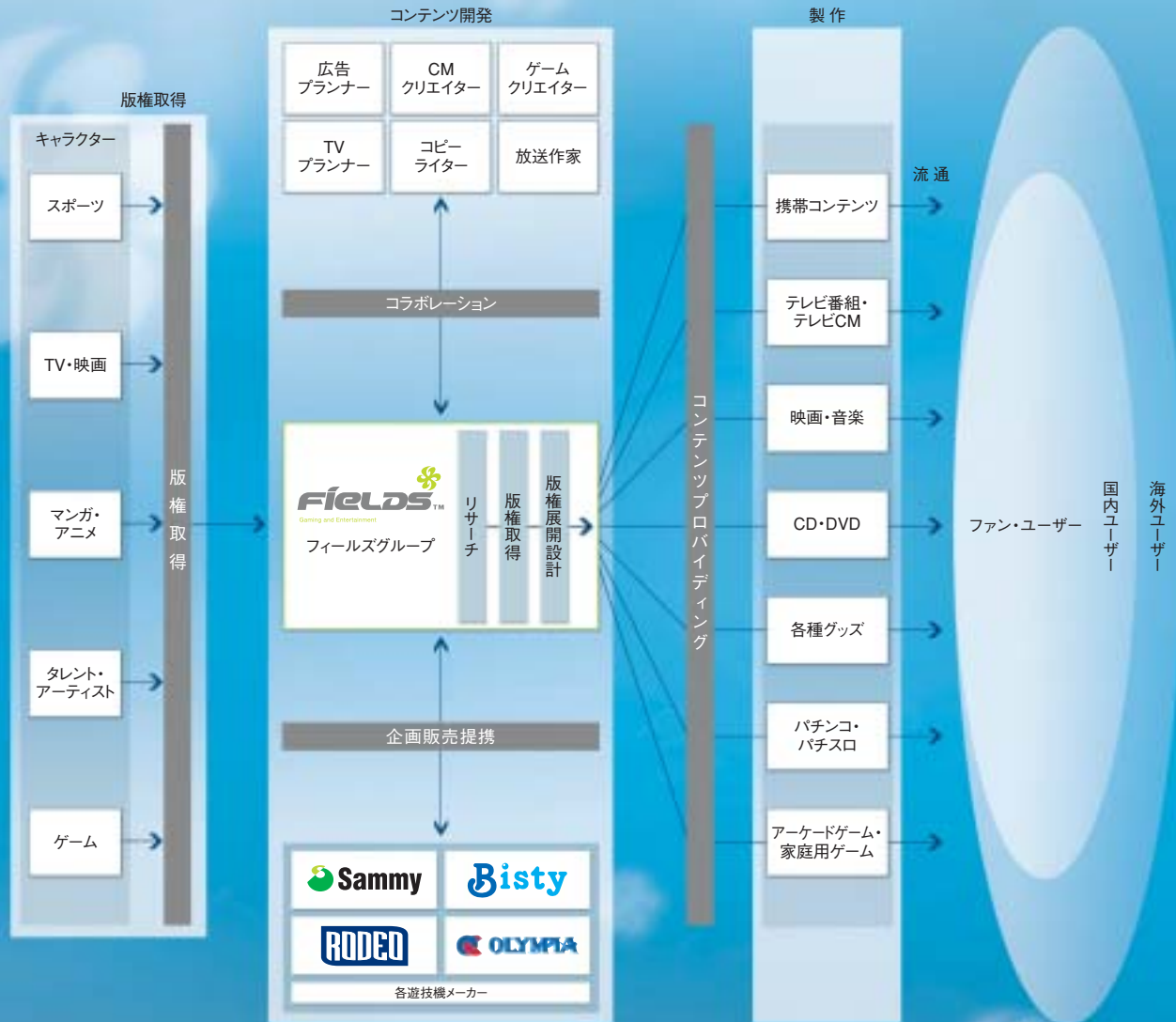


Fields

2006年3月期中間事業報告書
2005年4月1日～2005年9月30日

コンテンツプロバイディング。

「すべての人に最高の余暇を」の企業理念のもと、エンタテインメント分野における幅広いコンテンツビジネス展開を競争優位性構築の基盤と位置づけ、ビジネスモデルの進化を続けています。



次なる飛躍に向け、 事業基盤の整備を推進。

当社グループは、エンタテインメント分野における幅広い企画・プロデュース能力をコア・コンピタンスに事業展開を行っております。現在、その事業領域はパチンコ・パチスロをはじめゲームソフト、出版、スポーツなど急速に幅を広げております。

当中間期におきましては、新たに連結子会社として迎え入れたジェイ坂崎マーケティング株式会社と、スポーツ関連事業を展開するグループ2社との経営統合を決定し、10月にジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社として新たにスタートを切りました。同社は今後、スポーツ・エンタテインメント分野でのリーディングカンパニーをめざしてまいります。また、本年3月に連結子会社化した株式会社ディースリー・パブリッシャーとは、当社とのコラボレーション作品が業界常識を破るヒットを記録したほか、海外の有力版權を複数獲得するなど、着実にコンテンツ事業の多角化に向けた体制整備の効果が始まっております。

主力の遊技機販売事業につきましては、全営業社員による全国約16,000店舗のパチンコホールの集客に貢献できる企画提案の実践や、集客力に優れた商品提供を行うためのリッチ・コンテンツの獲得や企画・開発プロセスの革新に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 山本 英俊



エンタテインメント分野への 多彩なアプローチを推進。

フィールズは、エンタテインメント分野における幅広い企画・プロデュース能力をコア・コンピタンスに、パチンコ・パチスロをはじめゲームソフト、出版など、多彩な事業領域へコンテンツを展開してきました。さらに当中間期は、スポーツを軸にしたビジネスチャンスの拡大を図るべく、新会社を設立するなど、多彩な取り組みを進めています。

スポーツ・エンタテインメント
事業の本格化

ファブレス化の推進

コンテンツの多元展開

FieldsTM

Gaming and Entertainment

業界に先駆け、新規則対応パチスロ機を全国発売。

(株) ビスティ製パチスロ機「新世紀エヴァンゲリオン」



'05年8月、業界初の新規則対応1号機として市場投入。ロングランを記録している同社製「CR 新世紀エヴァンゲリオン」をしのぐ多彩な演出バリエーションで、同作品の迫力と、世界観をよりダイナミックに再現しており、「遊べるパチスロ」として高い評価を受け、現在も市場において好評を博しています。

なお、本機は、主要キャラクターの3人をそれぞれデザインした筐体を用意し、業界で初めて、タイプごとに固有の演出を施しました。



パチスロ機「新世紀エヴァンゲリオン」
©GAINAX/Project Eva.+テレビ東京 ©Bisty

魅力ある多彩なコンテンツを続々発売。

(株) ビスティ



CR 飯島直子のカジノビスティ

癒しの女優として活躍している飯島直子さんをキャラクターとして起用。再現された『バカラ』の世界観のなかで、ゲームの展開を盛り上げる幸運の女神として活躍します。

©JVC Entertainment Networks, Inc./FIELDS



CR マリリン・モンロー

世界中で人気を集めたマリリン・モンローの美しさを再現するとともに、誰もが親しみをもって楽しめるカテゴリーとして既に広く認知されている“海”を組み合わせています。

TM/Marilyn Monroe, LLC by CMGWorldwide.com; www.MarilynMonroe.com.
© 2005 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved. TM/Marilyn Monroe, LLC by CMGWorldwide.com; www.MarilynMonroe.com. © 2005 Twentieth Century Fox Film Corporation (©1955 Charles K. Feldman Group Productions, renewed 1983). All rights reserved.



CR 明日があるさ よしもとワールド

吉本興業(株)の全面協力のもと、ダウンタウンなど人気タレント総勢10名をキャラクターとして採用。バラエティ性豊かな演出をお楽しみいただけます。

©吉本興業

サミー(株) / (株) ロデオ



鬼武者 3

(株)カプコンの全面的な協力により、家庭用ゲームソフト「鬼武者」シリーズの最新作「鬼武者 3」をキャラクターに採用。圧倒的な映像美を体感いただけます。

©CAPCOM CO.,LTD. 2004 ALL RIGHTS RESERVED.
鬼武者は株式会社カプコンの登録商標です。



CR あずみ

コミックや実写による映画化、ゲームソフト化*された人気作品小山ゆう氏の人気漫画「あずみ」をキャラクターとして採用。幅広い層の方々にお楽しみいただけます。

*当社関連会社、韓国エンターテインメントソフトウェア・パブリッシングより商品化
©小山ゆう/小学館・ビッグコミックスベリオール ©Sammy



CR スーパーゼッター

1960年代に放映された本格的タイムトラベルSF アニメ「スーパーゼッター」をキャラクターとして採用。スピード感あふれる最新映像で再現しております。

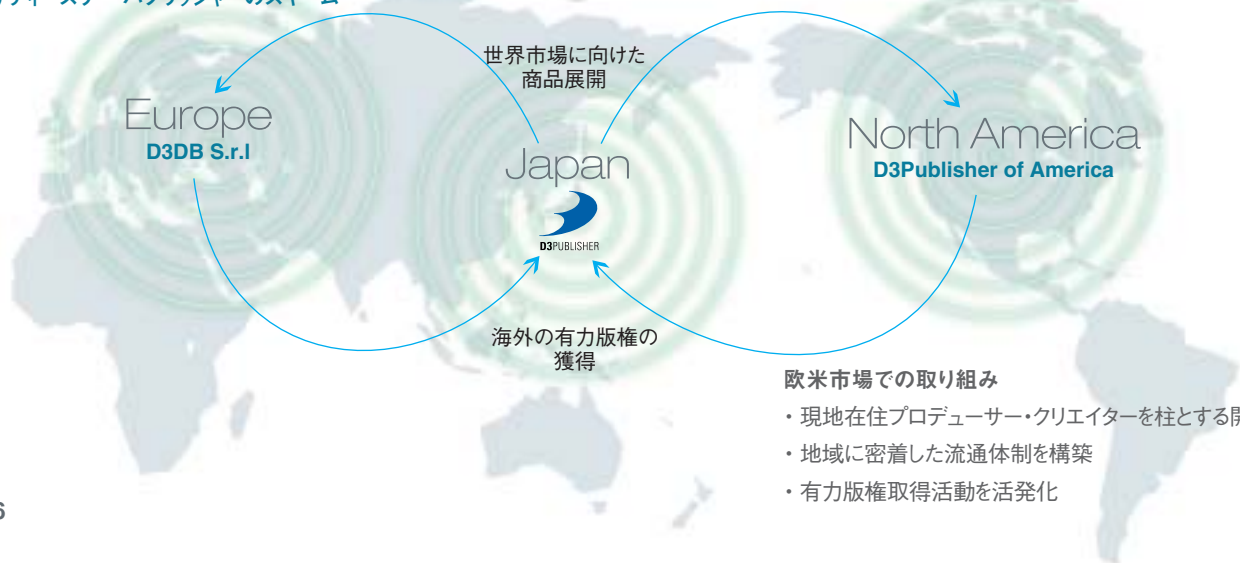
©TBS ©Sammy

世界の有力版權を日本へ。そして世界へ展開。

当社の連結子会社である(株)ディースリー・パブリッシャーは、米現地法人「D3Publisher of America, Inc.」および欧州合弁会社「D3DB S.r.l.」を主体に、現地在住プロデューサー・クリエイターなどを柱とする開発体制、地域に密着した流通体制を構築し、家庭用ゲームソフトの巨大マーケットである欧米市場への進出を本格化させています。当社は、同社と緊密化を進めることで、欧米市場における版權取得活動を活発化させるとともに、ゲームソフトを中心とする商品の企画・開発・販売を日本のみならずグローバルに展開していきます。

2005年4月には、同社を通じて、ウォルト・ディズニーが贈る映像作品のゲームソフトにおいて、日本における販売契約を締結。同6月には、米国内カートゥーンネットワークの大ヒットアニメ番組「Hi Hi Puffy AmiYumi」のゲームソフト化におけるライセンスを取得したほか、トミー米子会社と共同で「NARUTO-ナルト-」の北米・南米におけるゲームソフト販売を予定するなど、コンテンツのグローバル市場での多角的展開を推進しています。

(株)ディースリー・パブリッシャーのスキーム



ゲーム「新世紀エヴァンゲリオン (PS2)」

大ヒットを記録したパチンコ機「CR新世紀エヴァンゲリオン」のシミュレータゲームソフト。実機販売台数を上回る業界常識を破るセールを記録しています。

© GAINAX / Project Eva.・テレビ東京 © Bisty
© D3 PUBLISHER



Hi Hi Puffy AmiYumi
TM & © Cartoon Network. (s05)



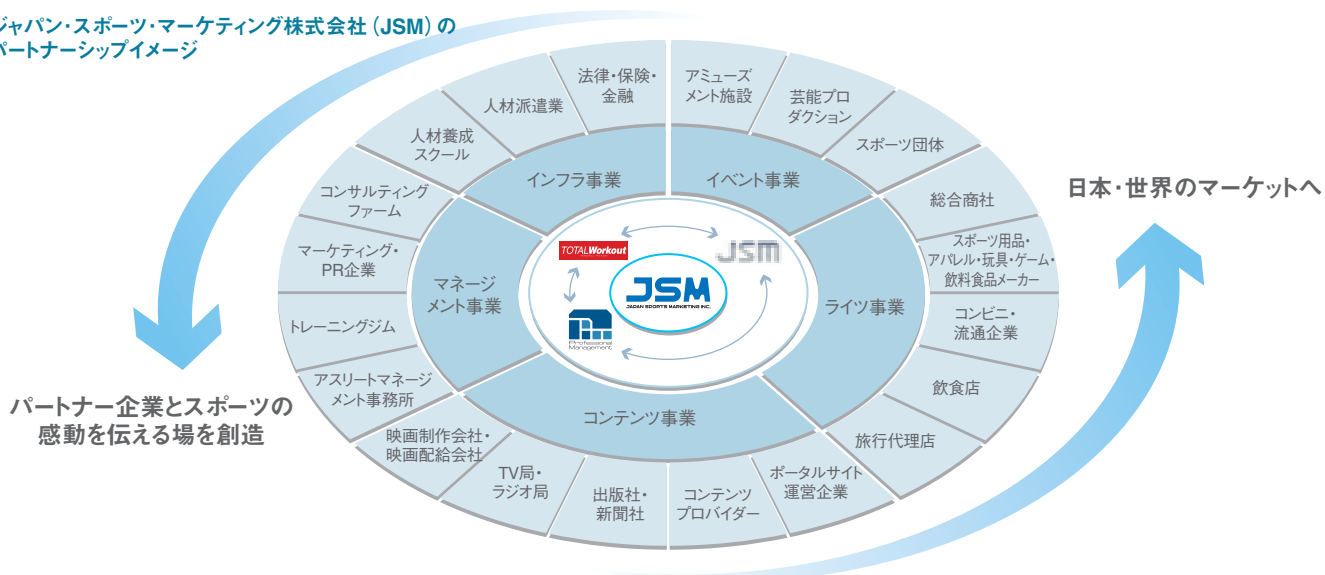
リロ&スティッチ
© Disney
Published and distributed in Japan by D3 Publisher Inc.

10月1日、ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社 (JSM) が本格始動。

2005年7月、当社は拡大するスポーツ・エンタテインメント分野におけるビジネス強化を図るべく、日本におけるスポーツ・マーケティングの草分けとして高い評価を得るジェイ坂崎マーケティング(株)の株式を取得し、子会社としてグループに迎え入れました。10月には、同社と当社連結子会社で、アスリートサポートの実績のあるプロフェッショナル・マネージメント(株)、著名アスリートや芸能人のネットワークを有するトータル・ワークアウト(株)の3社を経営統合し、ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社として新たなスタートを切りました。

今後は、シナジーの最大化を追求することで、スポーツ種目の違いやエンタテインメント分野の壁を超えた活動を展開。「パートナーシップ」を基本コンセプトとして、スポーツがもつ固有の価値を高める中で、各界有力企業とのアライアンスによるスポーツ・エンタテインメント事業の確立に努めていきます。

ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社 (JSM) のパートナーシップイメージ



ジェイ坂崎マーケティング株式会社の主な実績

放映権	
サッカー	ワールドカップヨーロッパ・南米予選大会…他
野 球	メジャーリーグベースボール…他
水 泳	FINA水泳世界選手権…他
ラグビー	5ヶ国対抗ラグビー…他
テ ニ ス	デビスカップ…他
ヨ ッ ト	アメリカズ・カップ…他
など様々なスポーツの放映権ビジネスを展開。	
イベントマーケティング	
レアル・マドリッドAsian Tour 2003、MLBオールスターシリーズ…他	

他、コンサルティング、ライセンス事業などを展開。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、緩やかながらも景気回復局面にありました。原油価格をはじめとする一次産品価格上昇や、度重なりアメリカ南部を襲ったハリケーンによる被害、また世界的なテロへの不安等、一部で景気の先行きに関する不透明感も出ていますが、今秋の総選挙において政権党が圧勝するなど国民各層の「安定」に対する希求は根強いものがうかがえ、各種統計データは景気回復の方向性を示唆しています。

当社の主力事業である遊技機販売事業は、パチンコ機においては、当中間期に6機種の新規発売を予定していましたが、3機種の新規発売にとどまりました。要因としては、未発売3機種中1機種はさらなる商品力の向上をめざして手直しを実施しました。もう1機種は市場環境等を睨みつつ投入タイミングを測っています。さらに上期末に発売予定であった「CRマリリン・モンロー」が開発の遅滞並びに保通協適合の遅延により当中間期の業績に反映させることが困難となりました。

パチスロ機においては、前期に引き続き「鬼武者3」の販売が好調に推移しました。また業界初の新規対応機種「新世紀エヴァンゲリオン」がファンの大きな支持を受け「遊べるパチスロ機」という新ジャンルを確立し、不透明感が色濃く漂っていた新規対応機種パチスロの今後に明るい見通しをつけました。手持ちの旧規格対応機種については、販売利益の最大化を実現するには未だ市場環境が整っていないと判断し、発売を下期以降に先送りしたため、期初業績予想を下回る結果となりました。

①パチンコ機販売実績

当中間期のパチンコ機販売台数は74,344台、前年同期比81.55%となりました。この主な要因は、前記したように6機種の新規発売が保通協試験適合の遅れなどで3機種にとどまったことによります。

②パチスロ機販売実績

同じく当中間期のパチスロ機販売台数は85,043台、前年同期比109.66%となりました。この主な要因は、前期よりの継続販売「鬼武者3」が好調に推移したことに加えて、悲観視する向きも多かった新規対応1号機「新世紀エヴァンゲリオン」が市場の大きな支持を受けたことによります。

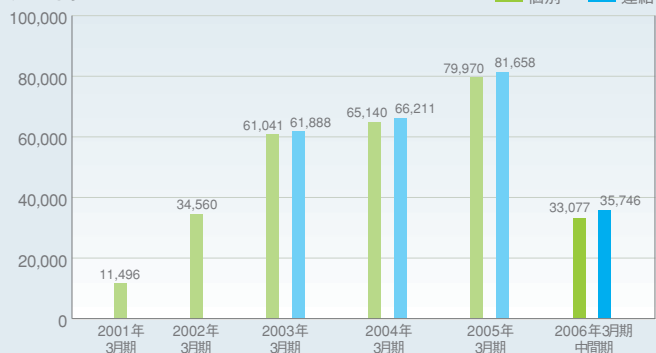
③著作権獲得（商品化権）

当中間期の著作権取得状況は、映画、ゲーム、タレント等、多方面にわたる18件を取得しています。

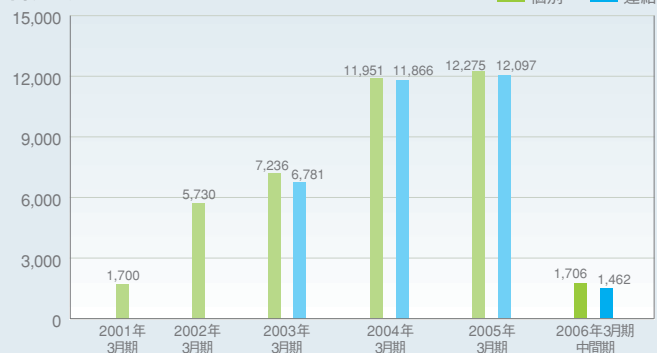
この結果、当中間連結会計期間では、売上高35,746百万円（前中間連結会計年度比15.4%増）、営業利益1,462百万円（同53.9%減）、経常利益1,806百万円（同44.9%減）、中間連結純利益961百万円（同51.3%減）となりました。

財務ハイライト

売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



通期の業績の見通し

当社の事業戦略は、エンタテインメント分野における幅広い企画・プロデュース能力をコア・コンピタンスとし、豊富なコンテンツ資産を活用し多角的な収益モデルを創出することにあります。この事業戦略は今期においてますます確かな広がりを見せています。株式会社ディースリー・パブリッシャーなどグループ各社間の連携によるシナジー効果が目に見えて現れてくるようになりました。今後はジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社（略称：JSM）によるスポーツ・エンタテインメント事業への本格的進出、株式会社角川春樹事務所とのアライアンスによる出版事業への参入など良質なコンテンツの創出と保有の体制を整えていきます。

各事業部門の通期の事業展開、業績見通しは下記の通りです。

①遊技機販売事業

パチンコ機は世界的女優マリリン・モンローを起用した大型液晶搭載機「CRマリリン・モンロー」の販売が好調に推移し、市場導入後も高い評価を受けています。吉本興業株式会社との全面的タイアップによる吉本オールスター出演の国民的コンテンツ「CR明日があるさ」を年末商戦に投入予定で準備を進めていますが、今後も大型版權を中心にラインナップを組んでいます。他にも上期から先送りしたスペック改良機など競争力ある商品を準備し、当下期は7機種種の投入を準備しています。

パチスロ機は新規対応機の適合状況が停滞気味でしたが、「新世紀エヴァンゲリオン」に続いて「ど根性ガエル」が適合を受けています。現在もリッチ・コンテ

ンツをキャラクターに起用した新機種を保通協型式試験に多数申請中であり、新規対応機の販売は軌道に乗っていく見通しです。下期においては、6機種種の販売を準備しており、業績の拡大に注力していきます。

また温存中の旧規則対応機については、当社は当該商品が業界活性化を維持するための業界全体の持ち物であると考えています。従って当該商品については、市場動向を見極めつつ最適時期を見計らって投入していく方針です。

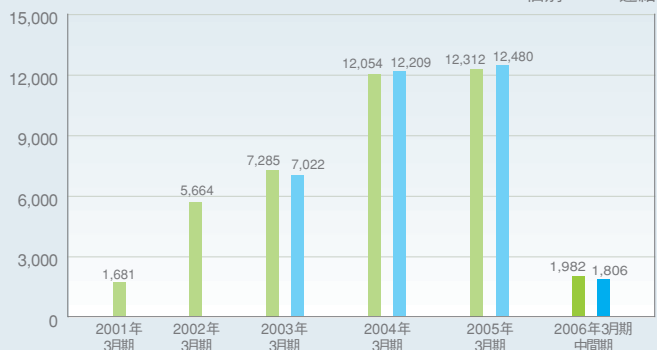
②その他の事業

株式会社ディースリー・パブリッシャーでは、本年10月パチンコ機シミュレータソフト「新世紀エヴァンゲリオン」（PS2用）を発売しました。実機販売台数（約12万台）の半分が売れば大成功とされるシミュレータソフト市場で実機販売台数を上回り業界常識を破るセールを記録しています。これを橋頭堡として当社版權とのコラボレーションによるパチンコ機・パチスロ機のシミュレータソフト市場に積極的に参入していきます。

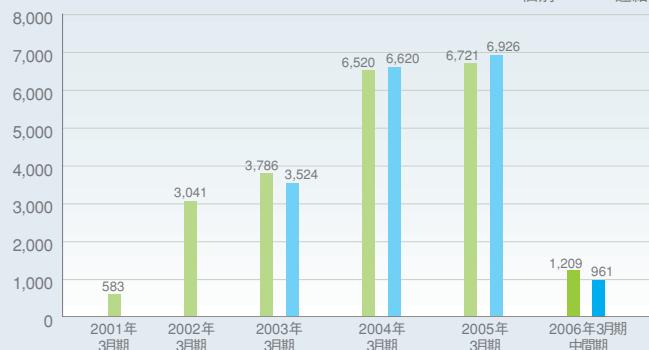
また同社子会社であるD3Publisher of America, Inc. はアメリカの大手アニメ専門チャンネル「カートゥーン ネットワーク」の大ヒットアニメ番組『Hi Hi Puffy AmiYumi™』のライセンス契約を締結、本年11月に北米で先行発売、その後、日本および欧州市場に展開していきます。

こうした積極的な事業展開により、平成18年3月期の連結業績予想は、売上高91,753百万円（前連結会計年度比12.4%増）、経常利益11,127百万円（同10.8%減）、当期純利益5,793百万円（同16.4%減）を計画しています。

経常利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 2004年9月30日現在	当中間連結会計期間末 2005年9月30日現在
資産の部		
流動資産	35,434,514	32,997,109
現金及び預金	14,761,976	16,162,238
受取手形及び売掛金	14,492,133	10,002,542
有価証券	5,000	—
たな卸資産	376,094	361,469
商品化権前渡金	2,944,054	3,605,657
その他	2,899,075	2,916,381
貸倒引当金	△ 43,821	△ 51,180
固定資産	11,521,564	17,544,382
有形固定資産	4,678,929	4,838,439
無形固定資産	543,148	3,025,352
投資その他の資産	6,299,486	9,680,590
投資有価証券	3,982,153	6,343,055
その他	2,410,288	3,661,749
貸倒引当金	△ 92,955	△ 324,215
資産合計	46,956,078	50,541,491

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 2004年9月30日現在	当中間連結会計期間末 2005年9月30日現在
負債の部		
流動負債	14,501,708	10,633,868
買掛金	11,909,550	6,320,750
短期借入金	230,000	430,000
1年内返済予定長期借入金	81,000	248,668
1年内償還予定社債	—	50,000
賞与引当金	19,300	27,512
その他	2,261,857	3,556,938
固定負債	3,418,271	4,214,327
社債	—	550,000
長期借入金	439,000	474,331
退職給付引当金	120,569	182,464
役員退職慰労引当金	537,700	576,900
その他	2,321,001	2,430,631
負債合計	17,919,980	14,848,196
少数株主持分		
少数株主持分	16,144	1,800,520
資本の部		
資本金	7,948,036	7,948,036
資本剰余金	7,994,953	7,994,953
利益剰余金	12,872,932	17,295,534
その他有価証券評価差額金	204,032	648,573
為替換算調整勘定	—	5,676
資本合計	29,019,954	33,892,774
負債、少数株主持分及び資本合計	46,956,078	50,541,491

(注) 会計処理の変更

当中間連結会計期間から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。

これにより税金等調整前中間純利益が56,819千円減少しております。なお、減損損失累計額については、改正後の中間連結財務諸表規則に基づき当該各資産の金額から直接控除しております。

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間 2004年4月1日~2004年9月30日	当中間連結会計期間 2005年4月1日~2005年9月30日
売上高	30,975,184	35,746,482
売上原価	21,989,176	26,381,039
売上総利益	8,986,007	9,365,442
販売費及び一般管理費	5,814,359	7,902,682
営業利益	3,171,648	1,462,760
営業外収益	345,508	372,159
営業外費用	236,480	28,605
経常利益	3,280,677	1,806,314
特別利益	381,987	154,669
特別損失	225,545	201,224
税金等調整前中間純利益	3,437,118	1,759,760
法人税、住民税及び事業税	1,125,441	973,385
法人税等調整額	341,273	△112,245
少数株主損失(△)	△1,832	△62,439
中間純利益	1,972,236	961,059

中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間 2004年4月1日~2004年9月30日	当中間連結会計期間 2005年4月1日~2005年9月30日
資本剰余金の部		
I 資本剰余金期首残高	1,342,429	7,994,953
II 資本剰余金増加高		
1.増資による新株発行	6,652,524	—
III 資本剰余金中間期末残高	7,994,953	7,994,953
利益剰余金の部		
I 利益剰余金期首残高	11,631,695	17,133,487
II 利益剰余金増加高		
中間純利益	1,972,236	961,059
III 利益剰余金減少高		
1.配当金	646,000	694,000
2.役員賞与	85,000	105,000
3.連結子会社増加に伴う剰余金減少額	—	12
IV 利益剰余金中間期末残高	12,872,932	17,295,534

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間 2004年4月1日~2004年9月30日	当中間連結会計期間 2005年4月1日~2005年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,122,270	5,607,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,056,289	△1,784,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,256,323	△1,017,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,912	29,264
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	9,324,217	2,834,593
現金及び現金同等物の期首残高	5,437,758	13,326,256
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	—	1,388
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,761,976	16,162,238

中間貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前中間会計期間末 2004年9月30日現在	当中間会計期間末 2005年9月30日現在
資産の部		
流動資産	34,818,855	27,778,238
固定資産	11,491,992	17,733,794
有形固定資産	4,217,153	4,034,834
無形固定資産	414,579	898,773
投資その他の資産	6,860,259	12,800,185
資産合計	46,310,847	45,512,032
負債の部		
流動負債	14,067,400	8,232,919
固定負債	3,009,537	3,154,805
負債合計	17,076,938	11,387,724
資本の部		
資本金	7,948,036	7,948,036
資本剰余金	7,994,953	7,994,953
利益剰余金	13,086,887	17,532,744
その他有価証券評価差額金	204,032	648,573
資本合計	29,233,908	34,124,308
負債・資本合計	46,310,847	45,512,032

中間損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前中間会計期間 2004年4月1日~2004年9月30日	当中間会計期間 2005年4月1日~2005年9月30日
売上高	30,265,550	33,077,297
売上原価	21,538,323	24,831,827
売上総利益	8,727,226	8,245,470
販売費及び一般管理費	5,398,676	6,538,547
営業利益	3,328,549	1,706,922
営業外収益	165,578	283,145
営業外費用	228,576	8,053
経常利益	3,265,551	1,982,015
特別利益	395,365	349,669
特別損失	225,470	365,792
税引前中間純利益	3,435,446	1,965,891
法人税、住民税及び事業税	1,115,799	830,925
法人税等調整額	327,559	△74,696
中間純利益	1,992,088	1,209,662
前期繰越利益	1,085,219	1,313,502
中間末処分利益	3,077,307	2,523,164

株式状況

会社が発行する株式の総数	1,388,000株
発行済株式総数	347,000株
株主数	13,882名

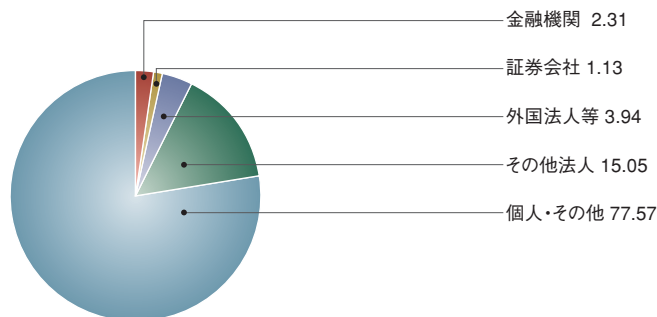
大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
山本 英俊	112,200	32.33
山本 剛史	40,000	11.53
山本 洋子	35,000	10.09
サミー株式会社	27,500	7.93
有限会社ミント	16,000	4.61
日本証券金融株式会社	5,810	1.67
山本 優希	5,000	1.44
フィールズ従業員持株会	4,052	1.17
ザバンクオブニューヨーク ジャスディック トリーティー アカウント	3,650	1.05
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	2,520	0.73

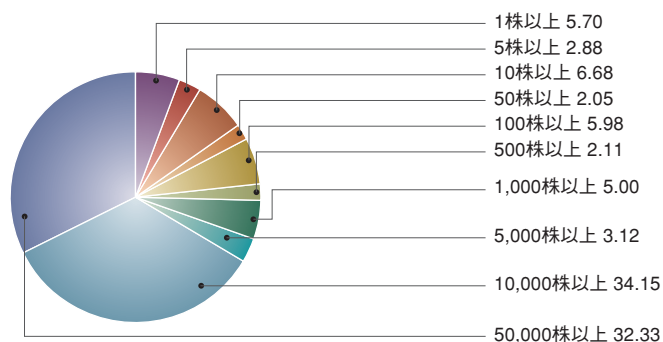
新株予約権の発行について

当社は、当社の取締役および従業員に対して、業績向上に対する貢献意欲や士気を一層高めることを目的として特に有利な条件（無償）をもって平成17年6月29日に新株予約権1,610個（1個あたり1株）を発行いたしました。なお、権利行使に際して払込をなすべき金額は1株あたり760,000円とし、権利行使期間は、平成17年8月1日から平成20年6月30日までといたしました。

所有者別分布状況 (%)



所有株数別分布状況 (%)



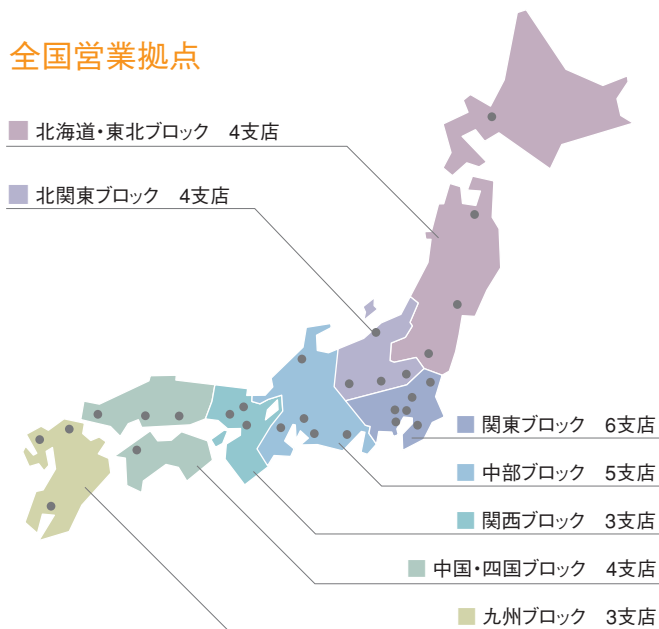
会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英訳名: FIELDS CORPORATION)	
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」	
設立	1988年6月(1983年に東洋商事の名で事業を開始)	
本社所在地	〒150-0044 東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー12階	
事業内容	1) 遊技機の企画開発 2) 遊技機の仕入、販売 3) キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 4) 映像ソフトの企画開発、販売	
役員	代表取締役社長	山本 英俊
	取締役副社長 経営企画室長	猪熊 洋文
	専務取締役 開発本部長	江川 正行
	常務取締役	秋山 清晴
	取締役 管理本部長	山中 裕之
	取締役 IR広報室長	末永 徹
	取締役	糸井 重里
	常勤監査役	松下 滋
	監査役	小池 勲夫
	監査役	古田 善香
資本金	79億4,803万円	
従業員数	907名(連結)	
連結対象会社 (10月1日現在)	フィールズジュニア株式会社 株式会社デジタルロード ホワイトラッシュチャームズジャパン株式会社 ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社 株式会社ディースリー・パブリッシャー 他3社	

(注)

2005年7月、子会社化したジェイ坂崎マーケティング株式会社は、2005年10月をもってプロフェッショナル・マネージメント株式会社とトータル・ワークアウト株式会社と経営統合いたしました。統合後はジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社として、連結対象会社となっております。

全国営業拠点



当社ホームページのご紹介

業績情報やプレスリリースなど、最新の情報を随時発信しています。ぜひご活用ください。



TOPページ

TOPページアドレス
<http://www.fields.biz>



IRページ

IRページアドレス
<http://www.fields.biz/ir/j>

主要グループ会社一覧

ホワイトラッシュチャームズジャパン株式会社



ハリウッド女優やアーティスト、スタイリストなど、多くのファッションリーダーたちに愛されているアメリカ西海岸発のアクセサリブランドです。2002年4月より日本国内での輸入販売を開始し、2003年4月には、六本木ヒルズ内に直営店をオープン。今後は、ますます商品ラインナップを充実させます。

<http://www.whitetrashcharmsjapan.com>

フィールズジュニア株式会社



全国で約1,200名の大学生を登録管理し、パチンコ、パチスロの納品設置業務を担当しています。また、全国1万6,000店舗のパチンコホールを対象に設置機種や入客状況などのマーケット調査も実施。それらの情報は、新機種の企画開発などにフィードバックされています。

株式会社デジタルロード



パチンコ、パチスロには欠かすことのできない映像ソフトの企画開発を中心に各種キャラクターのマーチャンダイジングビジネスの企画立案、ブランドマネジメントを行います。パチンコ、パチスロ、各種マーチャンダイジングビジネスに注入し、新たな映像ソフトやキャラクターを創出していきます。

株式会社ディースリー・パブリッシャー

(証券コード4311:JASDAQ)



©Disney/Pixar



©FEG/K-1
©D3 PUBLISHER

2005年3月に当社の連結子会社となったゲームパブリッシャーです。両社の緊密な連携による欧米市場における版權取得活動の活発化など、当社のコンテンツプロバイダー事業の強化、およびゲームソフトのより迅速な商品企画・開発・販売が可能となります。

<http://www.d3p.co.jp>

ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社



2005年7月にフィールズの連結子会社となったジェイ坂崎マーケティング(株)と、プロフェッショナル・マネージメント(株)、トータル・ワークアウト(株)を経営統合し、2005年10月に設立されました。スポーツイベントのプロデュースや放映権ビジネスをはじめとするスポーツ・マーケティングやスポーツジムの運営など、パートナーシップを基本コンセプトとして、各界有力企業とのアライアンスによるスポーツ・エンタテインメント事業にグローバルに取り組んでいきます。

<http://www.jsm.jp>



ジェイ坂崎マーケティング株式会社



プロフェッショナル・マネージメント株式会社



トータル・ワークアウト株式会社



ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社



JAPAN SPORTS MARKETING INC.

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎決算期の翌日から3ヶ月以内
基 準 日	3月31日(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
中 間 配 当 基 準 日	9月30日(取締役会の決議により中間配当を実施する場合)
株 券 の 種 類	1株券、10株券および100株券の3種類
株 式 の 名 義 書 換	名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (同送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の 電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
電子公告掲載アドレス	http://www.fields.biz 事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができな いときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上 場 証 券 取 引 所	JASDAQ

フィールズ株式会社

〒150-0044

東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー12階

お問い合わせ先 ir@fields.biz